

## 第4学年 国語科学習指導案

1組 計28人（男子16人，女子12人）

指導者 帖 佐 康 博

- 1 単 元 説明のしかたを工夫して，分かりやすく伝える文章を書こう  
 （教材『クラブ活動リーフレット』を作ろう」光村4年下）

### 2 単元の目標

書こうとすることの中心を明確にして，写真と文章を対応させながら，段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。

### 3 単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度                           | B 書く能力   | 言語についての知識・理解・技能                          |
|--|--|--|
| 分かりやすく説明するために，写真を選んだり，文章を書いたりしようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章全体の構成を理解し，書くことの中心を明確にして書いている。 【(1)イ】</li> <li>・ 選んだ写真と文章を対応させて書いている。 【(1)ウ】</li> <li>・ 書いたものを読み合い，書き手の考えの明確さなどについて意見を述べている。 【(1)カ】</li> </ul> | 句読点を適切に打ったり，必要な箇所で行ったりして書いている。 【(1)イ(エ)】 |

### 4 単元を貫く言語活動

本単元を貫く言語活動として，「B書くこと ウ 収集した資料を効果的に使い，説明する文章などを書く言語活動」の「クラブ活動リーフレット」を書く活動を位置付ける。この「クラブ活動リーフレット」には，来年からクラブ活動を始める3年生のために，自分が所属するクラブの楽しさなどを写真と文章を組み合わせて書くようにする。

このように，3年生に分かりやすく説明するために，写真を選んだり，文章を書いたりする活動を位置付けることで，子どもが「自分事の間い」をもって，主体的に活動に取り組むことができると考える。

### 5 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

子どもたちは，4年生1学期の「新聞を作ろう」や「自分の考えを伝えるには」で，伝えたいこととは何かを考えて材料を選択したり，目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書いたりする学習に取り組んできた。

そこで，本単元においては，先行する単元「アップとルーズで伝える」の学習を生かし，伝えたい意図に応じてふさわしい写真を選択したり，写真に対応する説明の文章を書いたりして，リーフレットにまとめるようにする。相手意識と目的意識を明確にもたせてリーフレット作りに取り組むことで，「書こうとすることの中心を明らかにし，写真と文章を対応させながら，段落相互の関係に注意して書く力」を身に付けることができるようにする。

ここでの学習は，本で調べて報告する文章を書く3学期単元「本で調べて，ほうこくする文章を書こう（教材『わたしの研究レポート』）」の学習につながっていく。また，他教科や他領域の学習活動の中でも，分かりやすい説明的文章の書き方として適用することができる。

#### (2) 教材について

教材『クラブ活動リーフレット』を作ろうでは，まず単元冒頭でクラブ活動の楽しさなどを写真と文章で分かりやすく説明するリーフレットを作る，という学習の流れを示している。続いて，相手意識と目的意識が明確になるように，説明する相手と内容を定める活動が設定されている。また，文章は「初め」「中」「終わり」の構成にし，内容のまとまりごとに段落を分けたり，複数挙げたクラブ活動のよい点からリーフレットに書く内容を絞り，それに対応した写真を使ったりするように示している。これらのことから，本単元に位置付けた言語活動である「クラブ活動リーフレット」作りを通して，目指す国語の能力を身に付けるために適した教材である。

(3) 子どもの実態（調査日 平成27年9月8日 調査人数28人）

本単元の内容に関わる子どもの実態については、以下のとおりである。（数字は人数）

|   |
|---|
| <b>【調査1】構成に関する指導事項【「初め」「中」「終わり」の段落構成】（複数回答）</b>   |
| 「初め」「中」「終わり」の段落構成を理解している (23) 「初め」「中」「終わり」の段落構成の理解がもう少しである (5)  |
| <b>【調査2】記述に関する能力【書いて分かりやすく伝えるために大切なこと】（複数回答）</b>  |
| 分かりやすい言葉を使う (8) きれいに書く (7) 正しく句読点を打つ (6) 写真や図を用いる (6) 主述の關係に気を付ける (6) 段落を分ける (5) 文末表現をそろえる (3) 無答 (2) |
| <b>【調査3】交流に関する能力【書き方のよさについて意見を述べること】</b>  |
| 書き方のよさについて意見を述べるができる (23) 書き方のよさについて意見を述べるがもう少しである (5)  |
| <b>【調査4】交流に関する能力【自分の書き方と学習過程を關係付けて意見を述べること】</b>   |
| 自分の書き方と学習過程を關係付けて意見を述べるができる (20) 自分の書き方と学習過程を關係付けて意見を述べるがもう少しである (8)                                  |

6 指導に当たって

(1) 「自分事の問い」をもつための手立ての充実（単元導入・本時の手立て）【研究内容1】

単元の「つかむ・見通す」過程において、3年生にとったクラブ活動へのアンケート調査の結果を提示することで、クラブ活動リーフレットを作ることへの意欲を高めることができるようにする。そして、自分が所属するクラブの楽しさを紹介する文章を書く試行の活動を行い、友達と読み合うことで、「どんなことを書いたら分かりやすい説明になるかな。」「どんな書き方をしたら分かりやすい説明になるかな。」といった「単元を貫く『自分事の問い』」をもつことができるようにする。

本時においては、前時までの学習を想起したり、リーフレット作りの進捗状況や学習計画表から本時の学習の位置付けを確かめたりすることで、子どもが「一単位時間の『自分事の問い』」をもつとともに、解決の見通しをもって主体的に学習に臨むことができるようにする。

(2) 「自分事の問い」の解決につながる「学び合い」（本時の手立て）【研究内容2】

以下の手立てを工夫することで、子どもが「自分事の問い」の解決につながる「学び合い」に主体的に臨むことができるようにする。

| 過程   | 手立て    | 「自分事の問い」の解決につながる「学び合い」の手立ての工夫  |
|------|--------|--|
| まとめる | 目的と視点  | 「学び合い」の進め方を電子黒板で確認することで、子ども一人一人がグループでの「学び合い」の目的（分かりやすく伝えるための説明の仕方の工夫を確かめるため）と視点（書き方や内容を比較したり、評価したりする）をもつことができるようにする。 |
|      | 方法（形態） | 同じクラブの子どもでグループを構成することで、書き方や内容等の共通点や相違点に気付き、自分の考えを強固、付加・修正することができるようにする。  |
|      | 教師の関わり | 『「学び合い」想定シート』を基に、「学び合い」が停滞しているグループに、学習過程や分かりやすく説明するために工夫したことを問い掛けるようにすることで一人一人の気付きを促し、考えを強固、付加・修正することができるようにする。      |
| 広げる  | 教師の関わり | 『「学び合い」想定シート』を基に、子どもが身に付けた説明の仕方の工夫に対して称賛することで、子どもが本単元での自己の変容を実感できるようにする。   |

(3) 自己の変容を実感できる評価の在り方（本時の手立て）【研究内容3】

以下のような手立てをとることで、子どもが自己の変容を実感することができるようにする。

| 手立て      | 自己の変容を実感できる評価の工夫   |
|----------|--|
| 子どもの自己評価 | ○ 単元導入時に書いた文章と単元の終末に完成したリーフレットの文章を比較し、書いた内容を学習過程と關係付けたり、友達との「学び合い」を通して感じたりしたことを「分かったこと」「できるようになったこと」「変わったこと」の観点で記述し、自己の変容を実感できるようにする。<br>○ 本単元で身に付けたことを今後「生かしたいこと」の観点で記述できるようにし、他教科や実生活での活用の見通しをもつことができるようにする。 |
| 教師の関わり   | 「単元構想シート」を基に、身に付けたい学習内容に関わる気付きや考えを適宜称賛することで、自己の変容を実感できるようにする。  |



8 本 時 ( 8 / 8 )

- 標 クラブ活動の楽しさを分かりやすく伝える文章について、説明の仕方のよさを伝え合ったり、自己の変容を実感したりすることができる。
- 展 開 □ は教師の言葉掛け [ ] は予想される子どもの反応 ◆ は重点評価項目 ☆ は ICT 活用の留意点

| 過程 (分)          | 主な学習活動と予想される子どもの反応  | 教師の指導   |
|-----------------|---|---|
| 1 見通しを確かめよう (3) | <p>1 これまでの取組を想起し、本時の学習内容について話し合う。</p> <p>今日はどんな学習をしていますか。</p> <p>作ったリーフレットを読み合います。</p> <p>単元の学習を振り返ります。</p>   | <p>○ 本時の「自分事への問い」の解決に向け、どのように学習を進めるのか、全体で確認後、ペアで確認し合うことで、子ども一人一人が見通しをもって本時の学習に臨むことができるようにする。</p>  |
| 2 調べる (7)       | <p>2 本時の学習課題を立てる。【「自分事への問い」】</p> <p>リーフレットを発表し合い、説明の仕方のよさを伝え合おう。</p>  | <p>○ 単元導入時に書いた文章と終末に書き上げたリーフレットの文章を比較し、これまでの単元での学びを振り返ることで、自分の作品が向上した経緯をまとめておくことができるようにする。</p>  |
| 3 広げよう (7)      | <p>3 解決の見通しを全体やペアで確認する。</p> <p>4 既習内容を確認する。</p> <p>5 作ったリーフレットとその完成に至った経緯をグループで紹介し合った後、相互の説明の仕方の工夫について感想を伝え合う。【「学び合い」】</p> <p>3年生にクラブ活動の楽しさを分かりやすく伝えるために、書き方や内容のよさに着目してリーフレットを比べよう。【「学び合い」】</p>   | <p>☆ 教師が電子黒板に作品のモデルを提示し、「学び合い」の目的と視点などを確認することで、子ども一人一人が「学び合い」の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○ 同じクラブに所属する子ども同士でグループを構成し、自分のリーフレットと比較することで、説明の仕方の共通点や相違点に気付かせ、自分の表現について強固、付加・修正することができるようにする。</p> <p>○ 「学び合い」の進捗に合わせて、グループの構成をかえて「学び合い」を行うことで、自分の表現を強固、付加・修正する機会を多くもつことができるようにする。</p> |
| 4 広げよう (27)     | <p>最初、ぼくはこのように(単元導入時の文章)書いていたのを、このように(単元終末のリーフレット)書き直しました。なぜかというと、(学習計画の)4時間目に、分かりやすく説明するために、内容に合う写真を添えたり、具体例を挙げたりすることを学習したからです。</p> <p>私も内容に合うように写真を入れた。内容に合う写真があると、やっぱり分かりやすいな。</p> <p>【強固】</p> <p>ぼくは具体例が少なかつたかな。○○くんのように、具体例をもう少し詳しく書けば、3年生に分かりやすく伝わるかもしれない。</p> <p>【付加・修正】</p>   | <p>◆ 書いたものを読み合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を伝えていく。【書く能力：「学び合い」】</p>  |
| 5 高味めらる (8)     | <p>6 グループでの「学び合い」の感想を全体で話し合う。</p> <p>写真と文章を上手に組み合わせることで、分かりやすい説明になりました。</p> <p>7 単元を貫く「自分事への問い」をもって学んだ結果と過程を振り返る。【自己評価】</p> <p>単元の学習を振り返りましょう。</p> <p>㊶：分かったこと</p> <p>㊷：できたこと</p> <p>㊸：変わったこと</p> <p>㊹：生かしたいこと</p> <p>㊺：写真を使うと分かりやすい説明になることが分かった。</p> <p>㊻：内容のまとまりごとに段落を分けて書くことができた。</p> <p>㊼：友達のアドバイスを聞いて、写真をかえて説明できた。</p> <p>㊽：他の教科でも、説明するときに使えるようにしたい。</p> | <p>○ グループでの「学び合い」で話題になったことを全体で話し合うことで、本単元で学習した説明の仕方の工夫の共有化を図るとともに、子どもの作品の表現のよさに対して称賛する。</p> <p>☆ 子どもが作った作品を電子黒板に提示しながら説明することと、説明の仕方のよさを全体で視覚的に捉えることができるようにする。</p> <p>○ 四観点で単元を振り返り、自己評価することで、子ども一人一人が自己の変容を実感することができるようにする。</p>   |